

バアバちゃんの子育て考

NO.8

落ち葉の形を写し取ろう

吉田緑こども園
理事 長谷川智子

表面に凹凸のあるものの上に紙を置き、画材で紙をこすることで凹凸を模様として転写する技法を、美術用語で「フロッターージュ」と呼びます。さまざまな落ち葉の形を写し取り、オリジナル図鑑を作ってみましょう。

運動会は、家族が楽しみにしている行事です。コロナの影響でまだまだ充分でない部分もありますが、一つ行事を終える毎に子どもたちの育ちが見てとれます。ご声援ありがとうございました。

おちばの ずかんを つくろう

子育てメッセージより

子どもの存在をしっかり見つめ、急いで育てずに信じて待つ

どんな時でも信じてくれる人の存在を子どもは望みます。自分をちゃんと見てくれる人を子どもは好きになります。(バアバちゃんが小さい時にうちのばあちゃんが見ていてくれた様に)

そして自分のペースで歩くことを許されたとき、安心して内に秘める花を咲かせます。

その子だけの「幸せのものさし」を、一緒に探してあげましょう。

園の先生が心掛けていること

自尊心を育てる(宮里六郎先生からの助言)

1・2歳児 (自分で決めることを大事にした保育を)

1歳半を過ぎた頃自我が芽生え他者意識が成立します。

名前を呼ばれて返事をする

自分のものは自分のもの、人のものは人のもの

子ども達の〇〇のつもりを読み取るようにすると、大人にもわかってもらえる安心感が育ってきます。

3歳以上 (仲間に役立つ喜びを膨らませる保育を)

この頃になると一人前意識を持つようになります。(まだまだ大人から見たら半人前でも自分では一人前なのです) その時はやれない事を見つけるより、やれた事を褒めてやりたいです。

子どもは大人に任せられてこそやる気になり、あてにされてこそ意欲が出てきます。

子どもは大人に認められるだけでなく、仲間に認められる事で人に役立つ喜びを感じます。



うすい かみを おちばにのせて クレヨンで やさしく こすると かみのうえに おちばのかたち が うきでるよ。えかきさんが つかう ことばで フロッターージュというよ。

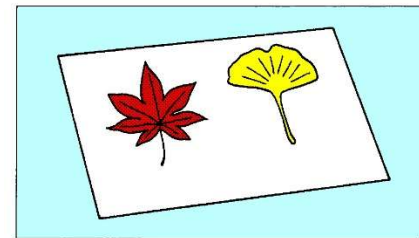
つくりかた

よういするもの

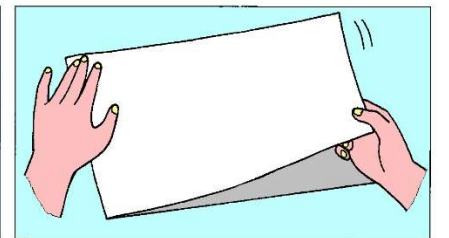
いろいろな しゅるいの おちば

コピーようし がようし

クレヨン



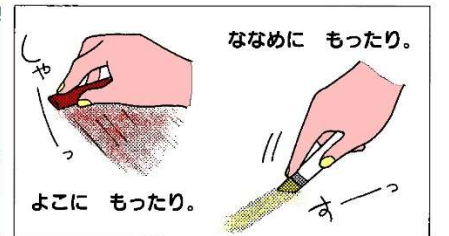
おちばを がようしに のせる。



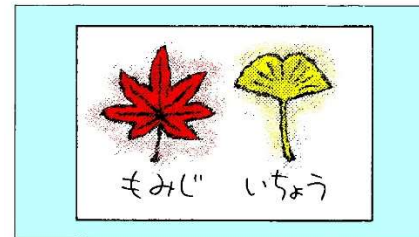
コピーようしを うえに のせる。



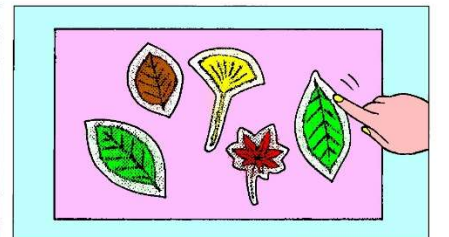
クレヨンで やさしく こする。



クレヨンの もちかた。



おちばの なまえを かく。



はりえに しても たのしいよ。